

Shun



Sui

すみ とも しゅん すい
住友春翠の
ぶん か い さん
文化遺産

第五回内国勸業博覧会と近代陶芸作家たち

2017年5月15日 [月] ~ 7月8日 [土]

京都工芸繊維大学美術工芸資料館

開館時間 | 10:00~17:00 [入館は16:30まで]

休館日 | 日曜・祝日

入場料 | 一般200円、大学生150円、高校生以下無料

*京都・大学ミュージアム連携所属大学の学生・院生は学生証の提示により無料
*「浅井忠の京都遺産 - 京都工芸繊維大学 美術工芸コレクション」展(於 泉屋博古館)チケットの持参者は無料

主催 | 公益財団法人泉屋博古館、京都工芸繊維大学美術工芸資料館
協力 | 京都・大学ミュージアム連携



京都・大学ミュージアム連携
University Museum Association of Kyoto

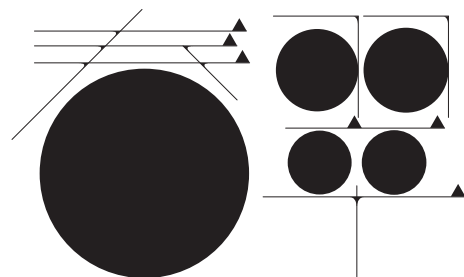


京都工芸繊維大学
KYOTO INSTITUTE OF TECHNOLOGY

住友春翠の 文化遺産

第五回内国勲業博覧会と近代陶芸作家たち

2017年5月15日〔月〕～7月8日〔土〕 | 京都工芸繊維大学美術工芸資料館



近代京都の陶芸界は、明治初期には輸出用製品が好評を博したために好況が続いたが、その勢いも明治20年代になるとかげりを見せるようになる。そこで、不振からの脱却を目指して、陶磁器試験場の設置などの回復策が試みられ、同時に各窯元でもさまざまな模索をおこなった。この明治時代後半に、京都の陶芸界を支えたひとりが住友春翠(1864-1926)であった。

春翠は、住友家15代当主として産業界に大きな功績を残す一方で、美術愛好家、パトロンとしても知られている。明治36年(1903)に大阪で開催された第5回内国勲業博覧会では、協賛会長として尽力するとともに、博覧会見物に訪れた皇

太子・同妃、徳川慶喜などを茶臼山別邸でもてなすなど、社交の中心として活躍した。本展では、泉屋博古館が所蔵する春翠が収集した近代京都の陶磁器作品のうち三代清風与平、七代錦光山宗兵衛、初代宮川香山の作品を中心に36件を集め展示する。

京都工芸繊維大学の前身である京都高等工芸学校の初代校長中澤岩太や浅井忠など初期の教官たちは、彼ら陶芸家と交流して新しい時代に対応する陶芸のあり方を模索していた。この展覧会では、京都高等工芸学校とかかわりの深い陶磁器作品を通して、明治後期の京都の陶芸界の縮図を示してみたい。

出展作品より



七代錦光山宗兵衛
牡丹水注



初代宮川香山
青華紅彩桃樹文双耳花瓶



初代伊東陶山
色絵金彩小菊模様額皿



初代宮川香山
藤花図菊花形共蓋壺



幹山伝七
色絵花鳥模様花瓶

すべて、泉屋博古館分館蔵

連携企画展

「浅井忠の京都遺産 —京都工芸繊維大学 美術工芸コレクション—」

会期 | 2017年5月20日(土)～7月9日(日)

会場 | 泉屋博古館 〒606-8431
京都市左京区鹿ヶ谷下宮ノ前町24
TEL 075-771-6411

会期中、本展の半券提示で入館料が2割引になります。

同展は2017年9月9日(土)～10月13日(金)
泉屋博古館分館(東京・六本木)に巡回します。

館内同時開催中

「第14回村野藤吾建築設計図展

村野藤吾とクライアント

—近鉄の仕事を通して—

2017年3月21日(火)～6月10日(土)

「チェコ ポーランド

ハンガリーの

ポスター展」

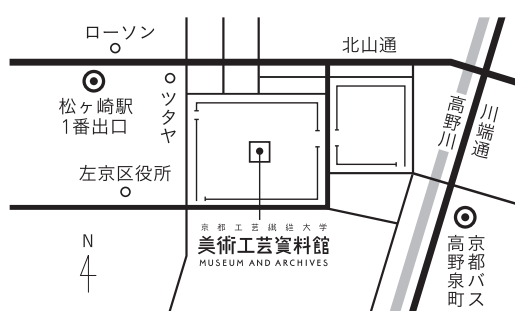
2017年6月19日(月)～8月11日(金)

アクセス

—京都市営地下鉄烏丸線
「松ヶ崎」駅下車徒歩約8分
1番出口から右(東)へ約400m
4つ目の信号を右(南)へ約180m

—京都バス「高野泉町」下車
徒歩約10分

—By Subways:
Take the “Kokusai Kaikan”
bound Karasuma Line
Subway to “Matsugasaki”
Station, and walk east for
about 8 min.



京都工芸繊維大学
美術工芸資料館
MUSEUM AND ARCHIVES

お問合せ | 京都工芸繊維大学美術工芸資料館
〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町
TEL: 075-724-7924
<http://www.museum.kit.ac.jp/>

Contact | Museum and Archives,
Kyoto Institute of Technology
Hashigami-cho, Matsugasaki,
Sakyo-ku, Kyoto, 606-8585,
Japan